

問 覚せい剤等が蔓延し、青少年の薬物乱用が懸念されているが、学校での薬物乱用防止教育の実施状況はどうか。

答 学校教育課長 小中学校で実施しているが、今後も継続的に実施する。

問 様々な問題に対処するための心理社会的能力を養うライフスキル教育の導入は。

答 学校教育課長 実施している先進地を調査研究する。

問 学校通学区の隣接区域選択制の導入は。

答 学校教育課長 通学審議会が協議するもので、今のところ予定はない。

問 高校大学等入学準備金貸付制度創設への進捗状況は。

答 学校教育課長 来年度入学者より利用できるように、現在金融機関と協議中である。



活字文章読み上げ装置

問 毎年農家数が減少しているが、その実態数はどのようなになっているか。

答 産業振興課長 専業農家、第1種兼業農家が減少して第2種兼業農家が増えている。これは農業外収入に依存している農家数が多いと考える。

問 近代的な農家経営を目指すとして、経済的負担が多くなるので、農業者に近代化資金利子補給率を手厚くできないか。

答 産業振興課長 農業近代化資金取扱要領では、基準金利に対して県が1・25%で町が1・0%と定められているので率の変更は難しい。

問 良質で美味しい野菜を食卓に提供するため、農家は畑の土壌燻蒸をしているが、その補助対象となる燻蒸剤の種類と補助率のアップは。

答 産業振興課長 補助対象の種類はクロロピクリン、D-D、D-D混合剤が補助対象。地球温暖化につながる臭化メ

◆商店街の空き店舗対策は

問 第4次総合振興計画では空き店舗の活用と記述されているが、具体策は何か。

答 産業振興課長 様々な立場から「空き店舗」という共通の問題を取り上げ、十分な意見交換を重ね「空き店舗」問題に対処したい。

◆広告収入の使い道は

問 新たな財源である広告収入について、今年度どの程度を見込んでいるのか。

答 企画財政課長 ホームページのバナー広告と広報みよしの広告掲載で、今年度100万円程度を見込んでいる。

問 広告収入の使い道を、住民参加型で考えては。

答 企画財政課長 新しい提案で興味深く聞いたが、財源の確保を目的としたものであり、今後の課題とした。

高齢者・障がい者に優しい福祉施策の展開を

公明党 横田英明

問 生活支援対策事業の一環として、家庭ごみの搬出が困難な世帯に対し「高齢者等ごみ出し支援事業」の実施は。

答 高齢者支援課長 当町でどのくらい利用者がいるか調査し、その結果を見て検討したい。



高齢者にとってごみ出しは重労働

問 オーストラリアとの中学生海外派遣やホームステイの受け入れ状況と成果は。

答 学校教育課長 海外派遣は平成9年にスタートし年々相互交流を深めている。ホームステイは、重度視覚障がい者日常生活用具「活字文章読み上げ装置」がある。音声コード作成のためのソフト導入、関係窓口への装置設置はどうか。

答 健康福祉課長 県補助制度があり、来年度実施したい。

◆妊婦健診5回まで無料に

問 厚労省の通知通り、無料健診を5回に増やせないか。

答 健康福祉課長 県と県医師会が来年度実施に向け協議中である。本町も来年度より実施したいと考える。

問 少子化対策として第3子以降の健診費用は全額公費負担にしたい。

答 町長 福祉関係については議会と十分協議して決めていきたい。

問 福祉ボランティア団体である「福祉囲碁将棋の会」の活動拠点確保の状況は。

答 健康福祉課長 多くの会員がいるので、広いスペースの会場が必要である。現状は難しいが努力はしていく。

問 福祉タクシー利用料金助成事業と心身障害者自動車燃料費補助事業の支給については、障がい状況が同じなので利用者が価値的に選択して申請できるようにしては。

答 健康福祉課長 近隣の状況を見て前向きに検討する。

◆教育行政について

問 開かれた学校づくりの環境として、学校運営協議会の設置について、見解を問う。

答 教育長 学校評議員制度を一層推進していく。現在は設置する考えはない。

問 「県環境教育アシスタント制度」による環境専門家の派遣を申請すべきと思うが。

答 学校教育課長 専門的知識を学ぶことは必要であり、学校とよく話し合っていく。

◆雨水対策について

問 集中豪雨による被害場所に対し、工事の年次計画を作成し住民に公表する考えは。

答 町長 水害対策を解消するには、多額な財源と工事期間を要する。工事の年次計画を作成するよう指示はするが、計画を公表することにによって住民に不安を与えないよう、十分配慮する必要がある。

◆他の質問

問 杉並自治会の浸水対策の今後の工事予定。

農業対策へ更なる充実を！

21クラブ 山田政弘

問 環境に優しい土壌燻蒸剤へ補助率のアップを



三芳町ホームページ

国際化社会に対応したまちづくりを目指して！

公明党 岩城桂子

問 海外との教育・文化交流の促進を！

◆公共施設バリアフリー化

問 高齢化社会に伴い、全集会所トイレの洋式化は。

答 自治環境課長 まだ洋式になっていない集会所を順次改修を進めていきたい。

問 小中学校体育館トイレの洋式化の計画は。

答 総務課長 災害時には避難場所にもなるため、平成21年度からの耐震工事に組み

◆児童虐待防止について

問 防止ネットワークと早期発見、早期対応の取り組みは。

答 こども家庭課長 要保護児童対策地域協議会を設置し、児童相談員を週4回配置。

問 「赤ちゃん事業」生後4カ月の全家庭訪問の実施は。

答 町長 さらに休めることなく関係機関と調整し、子どもたちを守っていきたい。



通学路竹間沢41号線の砂利道

◆通学路の歩道整備

問 現在砂利道の竹間沢41号線の歩道整備について。

答 道路下水道課長 道路幅員整備と合わせて検討する。

◆交通安全について

問 川越街道押本商店前に押し信号機の設置は。

答 自治環境課長 平成16年に東入間警察へ要望書を提出。粘り強く要請していく。

一般質問



こぶしの里

問 公民館等には町長への手紙が置いてあるが、実際には葉書であり、長文には向いていない。そこで封書等を投函できる町長へのポストを設置できないか。

答 秘書室長 新しい提案であり、住民にとって町長への手紙がより身近に感じられるのではないかと思う。実現に向け、設置場所等を検討したい。

問 町長への手紙、町長への

問 町の借地面積と金額は、00m²、年間6,041万円。

答 企画財政課長 5万8,000m²、年間6,041万円。

問 経費の節減のため、借地の見直しをして、借地の返却を進めるべきでは。

答 企画財政課長 施設の有効性を見直していく。

問 三芳町の貴重な環境資源ではあるが、今は借地の「こぶしの里」を維持するため、これを町が買取できないか。

答 企画財政課長 東部地区で自然環境が残されている場所であ

住民の声を町政に反映 町長へのポスト(仮称)を設置できないか

ウイング 山口正史

問 メールで寄せられた町民の声を、ホームページに掲載できないか。

答 秘書室長 プライバシー等の問題があり、全ては公開できない。時期は確約できないが、公開する方向で進めていきたい。

◆町の借地の件

問 町の借地面積と金額は、00m²、年間6,041万円。

答 企画財政課長 5万8,000m²、年間6,041万円。

問 経費の節減のため、借地の見直しをして、借地の返却を進めるべきでは。

答 企画財政課長 施設の有効性を見直していく。

家庭生ごみは、焼却でなく 再資源の堆肥化とすべき 国民健康保険税の値上げは止めるべき

日本共産党 吉村美津子



焼却処理される家庭の生ごみ

問 家庭系の一般廃棄物の生ごみは、焼却ではなく堆肥化にするべきと考える。三芳町広域ごみ処理施設等

問 「緑ぬくもり基金」等に対応し、公有地化を考えていきたい。

◆藤久保公民館の駐車場

問 藤久保公民館の駐車場が縮小され、しばしば満杯になっているが、拡張の計画は。

答 町長 都市基盤整備が進捗し、意向が固まった段階で保留地の計画があれば、それを町が買い取る手法で拡張する方法ができないかを検討する。

◆国保税の値上げは止めよ

問 小泉内閣の構造改革によって、町民は税負担が大幅に増えた。国民健康保険税は値上げすべきではないと思うが。

答 町長 国保運営協議会に委ねる。

問 検査委員会でも述べたが、生ごみの計量は乾燥方式ではなく、水分を含んだ状態で計量すべきでは。

答 自治環境課長 今まで、水分を含んだ量では調査はしていないと思う。

問 異常気象の今日、地球温暖化の原因物質の二酸化炭素排出量は、日本がアメリカ、中国、ロシアに次いで4番目に多い。排出量の8割は、産業や公共的分野である。環境面からも、生ごみは焼却ではなく、再資源の堆肥化を考えるべきではないか。

答 自治環境課長 広域ごみ処理施設等検討委員会でも検討しているが、焼却を高温にするほど二酸化炭素排出量が増える。窒素酸化物と反応すると変異原性や発がん性を持つようになる。ぜんそくなど呼吸器疾患の原因となる窒素酸化物の排出を抑制するために、生ごみは堆肥化すべきでは。また、視察研修しては。

◆自治環境課長

問 地域性があると、思うので、当町で実施する場合、臭気問題など場所が限定されるのではと考える。

答 町長 国保運営協議会に委ねる。

一般質問



近世開拓史資料館予定地

近世開拓史資料館 早急に代替案の検討を!

埼玉県は計画変更を示唆

大空 林 伊佐雄

問 6月の県議会で県教育長は、次のように答弁した。「厳しい財政状況で建設に至らなかった。今後、三富地割遺跡のガイダンス機能、ビジターセンター的な機能など、三芳町と検討していきたい」と。また、県の担当者は、地元の要望を尊重し、地割遺跡資料館、物産展、サツマイモ資料館、公園等あらゆる可能性があることを示唆した。

答 町長 住民の意向を把握しながら検討していきたい。

◆中央公民館を北永井地域の核として建設を

問 まちづくり懇話会で総体的に住民の皆さんは建設を望んでいた。第4次総合振興計画に基づき、北永井地域の拠点ゾーンの核として健康福祉の複合施設案の原点に返り、中央公民館を建設すべきだと考える。建設検討委員会の設置についてどう考えるか。

答 町長 複合の中身を検討し、担当課と協議しながら

問 財政削減のため遊休地の処分が行われ始めている。事業を継続するか代替案を検討するか、選択が迫られている。早急に検討委員会の設置と上富地域の将来都市整備構想と併せて検討してはどうか。

答 町長 住民の意向を把握しながら検討していきたい。

◆中央公民館を北永井地域の核として建設を

問 まちづくり懇話会で総体的に住民の皆さんは建設を望んでいた。第4次総合振興計画に基づき、北永井地域の拠点ゾーンの核として健康福祉の複合施設案の原点に返り、中央公民館を建設すべきだと考える。建設検討委員会の設置についてどう考えるか。

答 町長 複合の中身を検討し、担当課と協議しながら

大震災!三芳の建物は 大丈夫ですか? II 安心・安全なまちづくりへ向けて

大空 菊地浩二

問 三芳町浄水場内の各施設の耐震化状況はいかがか。

答 水道課長 管理事務所は

◆談合問題と入札について

問 改正談合防止法を受けて三芳町の取り組みはどうかか。

答 総務課長 現在は談合に関してマニュアル等は整備されていない。今後整備して職員に示していきたい。

問 国や県は一般競争入札へ移行していくが、三芳町ではどうかか。

答 総務課長 当町でも一般競争入札を拡大すべく、研究していきたい。

◆ブックスタートの実施を

問 赤ちゃんとお母さんが絵本を通して心ふれあい、本が好きになるブックスタート。各市町村でも成果を上げている。財政的にも、大きな負担にならない、図書館の人的支援体制も整いつつあり、機が熟したのでぜひ実施しては。

答 町長 大きな財政支出にならず、評価が高いのならば、来年度予算計上を前向きに検討していきたい。

問 赤ちゃんとお母さんが絵本を通して心ふれあい、本が好きになるブックスタート。各市町村でも成果を上げている。財政的にも、大きな負担にならない、図書館の人的支援体制も整いつつあり、機が熟したのでぜひ実施しては。

答 町長 大きな財政支出にならず、評価が高いのならば、来年度予算計上を前向きに検討していきたい。



給水塔

◆地震対策は。

答 図書館長 倒壊の可能性があるので、書架の連結を早急に検討したい。

◆中央図書館は耐震性について問題ないか。

答 図書館長 平成2年の完成なので問題はないと考えるが、当初より蔵書が増えたのでそういう面で不安はある。

問 書架や書庫の

一般質問

問 三芳らしい将来のまちづくりには大きな布石となる「農業と関連した緑の保全」―重要と言いつつ私有地がネックだったのを、不在地主の土地を取得し、体験しつつ歴史から食、環境、自分とのつながりまで実感できる場づくりや「待機児童対策の保育所建設」、「地震時など住民の避難所になる学校体育館の耐震補強」などに『住民参加型市場公募債（ミニ公募債）』を使えないか。

答 町長 事業は資金・目的達成から必要である。どの程度の協力を得られるかなど前



竹間沢小学校のせっけん

問 今まで発行の地方債（町債）は金融機関が一括で引き受けていたが、「個人国債」のように町民が買えないか。

答 企画財政課長 地域の人に参加してもらうことが大切。事業の達成目的をきっちり定める。実現には管理コストが大きいので、継続化を図りながらコスト削減をする、金利設定をどうするかなど課題があるが、将来は取り組む必要がある。

問 各委員会委員の「公募」今年、公募枠の委員がいないが、今後進めるか。

答 総合政策室長 「協働のまちづくり推進計画」のとおり、今後選考方法、割合等具体的に定め、公募制を推進する。

問 公共施設での石けん利用 PRR法やグリーン購

ネットワーク三芳 神田順子

「住民参加型市場公募債（ミニ公募債）」の導入を

向きに検討すべき課題とする。

◆各委員会委員の「公募」

今年、公募枠の委員がいないが、今後進めるか。

総合政策室長 「協働のまちづくり推進計画」のとおり、今後選考方法、割合等具体的に定め、公募制を推進する。

◆公共施設での石けん利用

PRR法やグリーン購

請願・陳情は、皆さんが町政について、直接町議会に要望できる制度です。

陳情の場合は議員の紹介は必要ありませんが、請願には必ず議員の紹介が必要です

請願・陳情は、随時受け付けてあります。

定例会の開催予定日の概ね3日前までに議会運営委員会が開催されますが、その前々日までに受理した請願は、その定例会（3月・6月・9月12月）で審査します。

ただし、議会運営委員会開催後受理した請願については、次の定例会で審査することになります。

請願書・陳情書の作成方法

- ・件名、紹介議員名（陳情の場合は不要）、趣旨、提出者の氏名・住所・連絡先等を分かりやすく記載する
- ・請願人が多数の時は、署名簿に住所、氏名を記入の上押印し、署名する方が、何について請願し、どこに提出するのかが分かるよう、署名簿を切り離さないようにする
- ・請願内容について、意見書を提出する場合は意見書案を添付する

請願書・陳情書の提出方法

- 請願…議会事務局に持参または紹介議員を通じて提出
- 陳情書…議会事務局に持参、郵送でも可

請願・陳情書の書式例（A3判）

請願・陳情事項	
1. ○○○	
2. ○○○	
3. ○○○	
平成 年 月 日	請願者（代表になる方）他○名
住所	氏名
電話	電話
三芳町議会議員 様	署名簿
住 所	氏 名
	印

※書式は定めていませんが、この書式例を参考にしてください

「改正」介護保険法 サービス抑制に歯止めを

マンション建設「高さ制限」で業者に指導 日本共産党 杉本しげ

問 介護保険法が改正され1年半が経過。特徴は食事・居住費の全額自己負担化など利用者負担増、「介護予防」を口実に軽度者から介護ベッドや車イスなどの取り上げやサービスの切り捨て、高齢者の保健福祉事業を「介護予防事業」として市町村に委ねるなどが挙げられる。

当町では①施設から追われた人はいないか。②サービス

の抑制はないか。③介護予防事業の効果はどうか。

答 高齢者支援課長 ①若干影響はあるが退所者はない。②福祉用具の貸し出しは制限されている。また、一部サービスについては定額制となった。③各事業への参加者は10名程度、今後も事業等検討しながら進めていく。

問 基金の残高を精査して介護保険料の値上げ中止は。

答 高齢者支援課長 基金残高は現在約2億5,000万円、値上げはしないよう努力した。



スマートIC

問 スマートIC計画 交通安全、大型倉庫など開発の誘導、環境保全、財政負担等、問題が多い「大型車」導入の再検討をすべきではないか。

答 総合政策室長 フルインター化に向け、計画案を今後関係機関と協議する。判断はそ

入札方式の変更と町内業者の育成との整合性どう図る？

藤久保地区の水害対策の早期実施を！

日本共産党 光下重之

問 この間、町の公共工事入札に関し、3回談合情報があった。三芳町の談合情報対応要領、公共工事入札・契約適

答 総務課長 調査の結果、入札方法を変えており、公取には通知していない。

問 この間の公共工事をめぐる談合情報について、どう受けとめているか。

答 町長 談合情報の真意については述べるつもりはない。入札関係については職員の手続きでやっており、一切関係していない。合議の結果は適正であり、信頼している。

問 今回、一つの案件について



排水管工事が予定されている道路

問 入札方式の変更と「町内業者育成」との整合性をどう図るかが問題だ。一般競争入札の拡大と同時に、町内業者への啓発・研修など行うことが必要ではないか。

答 町長 法令の基準内で公正、適正な入札を行うことが必要と考える。

◆水害対策の早期実施を！

問 杉並、あかね、松本自治会の5億円としている水害対策を2年の短期で実行は。

答 町長 願ってもない話だ。議会の理解を得、担当と協議して前倒しでやっていきたい。

ではダイレクト型制限付一般競争入札（入札後審査郵送方式）を採用したが、試行要領ですべての工事を対象とするとしている。どこまでこの方式を採用するのか。

答 町長 基本姿勢は一般競争入札を取り入れていくことだが、事務処理量の問題、工期のことなど考え、徐々に変えていく指示をしている。

質問順に掲載しています